

島根県邑南町で確認されたコケオニグモ (コガネグモ科) の記録

皆 木 宏 明*

A Record of Spider *Araneus seminiger* (Araneae:Araneidae) in Ohnan-cho, Shimane Prefecture, Honshu, Japan

Kohmei Minagi

コケオニグモ *Araneus seminiger* (L.Koch 1878) (クモ目オニグモ科) は北海道から沖縄まで日本で広く分布する大型のクモである。緑色と黒色の斑紋が特徴で山地に生息し、特にウメノキゴケのような緑色または青緑色の苔の生えている樹表面を好むとされる。夜間に活動し、樹間に大型の正常円網を張るが昼間は苔の中に脚を縮めて静止していることから、見つけにくい種とされ (新開, 2006), 島根県でも松江市西川津町楽山公園等記録は少ない (景山, 1966)。

筆者は、2010年7月28日に邑南町立ハンザケ自然館 (島根県邑南町上亀谷) 主催で実施された夜間の昆虫観察会において、コケオニグモ1♀ (写真) を確認したので報告する。

発見場所は、夜の昆虫観察会が行われた邑南町ふれあい公園 (島根県邑南町淀原) において、カブトムシやクワガタムシなどの夜行性の昆虫類を探している際に、幹の上を移動する本種を参加者が発見したものである。体長は約2センチあり、大きさから♀と判断した。発見場所は公園内であるが、ミズナラなどの木が茂り、園外まで林の続く場所である。樹皮には苔類も見られ、付近が生息地となっていると考えられる。



写真 邑南町で確認したコケオニグモ

引用文献

- 景山純孝 (1966) 山陰地方の真正蜘蛛類第1報 松江市立教育研究所研究集録 3:85-102
新開栄一 (2006) ネイチャーガイド日本のクモ 文一総合出版 335pp

謝 辞

本記録を報告するにあたり、日本蜘蛛学会会員景山純孝氏 (島根県雲南市) に同定頂いた。この場を借りて深謝いたします。

* 島根県立三瓶自然館, 〒694-0003 島根県大田市三瓶町多根 1121-8

The Shimane Nature Museum of Mt. Sanbe (Sahimel), 1121-8, Tane, Sanbe-cho, Ohda, Shimane, 694-0003, Japan